

とうれい おしょうさん ぶなん おしょうぞう  
東嶺和尚 讚無難和尚 像



△東嶺和尚讚無難和尚像

本幅にしたためられた讚の末尾に「安永十年四月日謹讚 至道菴主肖像以留正受神庵之識」とあるように、東嶺禅師は、正受庵を訪れた際に、この讚を無難禅師の肖像画にしたためたのであろう。